平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月27日

上 場 会 社 名　信越ポリマー株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　7970　　ＵＲＬ　http://www.shinpoly.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）　赤澤　宏
問合せ先責任者　（役職名）経理グループマネジャー（氏名）　平澤秀明　（TEL）　03(5289)3716

四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日　配当支払開始予定日　平成23年11月30日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	32,086	△10.9	742	△64.1	743	△58.6	328	△68.9
23年３月期第２四半期	36,025	12.6	2,067	333.6	1,797	190.9	1,056	―

（注）包括利益　24年３月期第２四半期　743百万円（－%）　23年３月期第２四半期　△736百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第２四半期	4.05	―
23年３月期第２四半期	13.00	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	81,705	62,839	75.6
23年３月期	81,326	62,710	75.8

（参考）自己資本　24年３月期第２四半期　61,806百万円　23年３月期　61,669百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	―	4.50	―	7.50	12.00
24年３月期	―	4.50			
24年３月期(予想)			―	4.50	9.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	64,000	△9.2	1,200	△64.6	1,200	△60.7	400	△67.3	4.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

４．その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無
新規　　ー社　　（社名）　、除外　　ー社　　（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年３月期２Ｑ	82,623,376株	23年３月期	82,623,376株
② 期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	1,337,619株	23年３月期	1,337,239株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年３月期２Ｑ	81,285,960株	23年３月期２Ｑ	81,287,256株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】３ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法）
当社は、平成23年11月１日（火）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○目　次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・ 3
３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・ 6
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・ 8
(4)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・ 9
(5)　セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気減速感や欧州の財政不安が増しており、また、新興国の景気回復基調にも影響が出つつあります。日本国内の景気は、東日本大震災の影響から持ち直す動きもありましたが、回復ペースが鈍化してまいりました。

当社グループ関連の市場環境につきましては、自動車関連市場の急速な回復の動きがある一方で、情報端末機器市場の激しい変化、半導体や電子部品などの市場低迷、また円高の長期化や海外景気の減速感など先行きの不透明感が強まっております。

このような環境の中、当社グループは、国内外での新製品提案・販売活動を積極的に推し進め、同時にコスト低減など収支改善に努めました。しかしながら、当社の関連市場での急激な需要変動や不安定な受注、原料高が大きく影響し、業績の回復を達成するには至りませんでした。

この結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は320億86百万円（前年同四半期比10.9％減）、営業利益は７億42百万円（前年同四半期比64.1％減）、経常利益は７億43百万円（前年同四半期比58.6％減）、四半期純利益は３億28百万円（前年同四半期比68.9％減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子デバイス事業

当事業では、携帯電話市場における急激な需要変動、また円高など為替の影響もあり、全体として厳しい状況が続きました。

自動車用キーパッドは震災後に生産調整の影響を受けましたが、上半期の後半から自動車生産が急速に回復したことにより、出荷は前年を上回りました。また、新入力デバイスでは、パソコンのタッチパッドや自動車のコンソールパネル用途が大幅に伸長しました。液晶用のインターコネクター、液晶TV用のパッキンなど周辺部品は一部在庫調整の影響を受けましたが、前年並みとなりました。一方、主力の携帯電話用キーパッドが、スマートフォンのフルタッチ方式への移行の影響を受け、受注減少に歯止めがかからず、大幅に前年を下回りました。

この結果、売上高は83億94百万円（前年同四半期比30.0％減）、セグメント損失(営業損失）は２億98百万円（前年同四半期は６億49百万円の利益）となりました。

②精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器、キャリアテープ関連製品が低調となり、OA機器用部品、シリコーンゴム成形品は堅調に推移しましたが、全体としては伸び悩みとなりました。

半導体関連容器につきましては、300㎜ウエーハ用の輸送容器及び300㎜用工程容器ともに震災復旧に関連した受注が増加しましたが、その後出荷は低調となりました。また、200㎜以下の小口径用の輸送容器も、出荷は減少しました。キャリアテープ関連製品は、電子部品業界の生産調整などの影響が続き、低調に推移しました。OA機器用部品は、モノクロプリンター中心の新興国需要の高まりを背景に、新機種向けの受注が旺盛でした。シリコーンゴム成形品は、電子部品関連製品が堅調でした。

この結果、売上高は126億35百万円（前年同四半期比3.5％減）、セグメント利益(営業利益）は13億円（前年同四半期比6.3％減）となりました。

③住環境・生活資材事業

当事業では、全体としてはほぼ前年並みとなりましたが、製品の多くは成熟市場の中にあり、原料コストや販売価格の動向に影響を受け、また不安定な受注状況が続きました。

塩ビパイプ関連製品は、一時的に震災の復旧関連の出荷が増えましたが、公共事業関連など需要水準は低く、原料高の影響が続きました。外装材関連製品は、ホームセンタールートでの拡販が一巡し、前年並みでした。生活資材の主力、ラッピングフィルムは、外食産業の不調などの影響を受け、伸び悩みとなりました。プラスチックシート関連製品は低調でしたが、機能性コンパウンドは、自動車市場の生産回復により堅調に推移しました。

この結果、売上高は87億７百万円（前年同四半期比1.0％増）、セグメント損失(営業損失）は１億81百万円（前年同四半期は４百万円の損失）となりました。

④その他
工事関連事業は、商業施設の改装物件などの受注は堅調に推移しましたが、価格競争の影響を受けました。
この結果、売上高は23億49百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント損失(営業損失)は40百万円（前年同四半期は19百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)
当第２四半期連結会計期間末における総資産は817億５百万円（前連結会計年度末比３億79百万円の増加）となりました。これは、現金及び預金が10億13百万円、たな卸資産が４億81百万円それぞれ増加したこと、また、受取手形及び売掛金が８億52百万円、有形固定資産が３億55百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。
(負債)
当第２四半期連結会計期間末における負債は188億65百万円（前連結会計年度末比２億49百万円の増加）となりました。これは、賞与引当金が１億３百万円、未払費用が90百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。
(純資産)
当第２四半期連結会計期間末における純資産は628億39百万円（前連結会計年度末比１億29百万円の増加）となりました。これは、為替換算調整勘定の増加４億87百万円のほか、利益剰余金の減少２億80百万円などによるものであります。
なお、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.2ポイント低下し、75.6%となりました。
(キャッシュ・フローの状況)
当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、259億９百万円（前連結会計年度末比60百万円の減少）となりました。
当第２四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。
①営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動による資金は、21億94百万円の増加（前年同四半期比27億35百万円の収入減）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益７億39百万円、減価償却費12億91百万円などの計上と売上債権の減少８億80百万円などの増加要因のほか、法人税等の支払い５億16百万円、たな卸資産の増加４億56百万円などの減少要因によるものであります。
②投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動による資金は、定期預金の預入による支出10億74百万円、有形固定資産の取得による支出８億79百万円などにより、18億90百万円の減少（前年同四半期比７億64百万円の支出増）となりました。
③財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動による資金は、主に配当金の支払い６億７百万円により、６億８百万円の減少（前年同四半期比15億51百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境としては、世界経済における景気減退や円高基調の長期化など、依然として厳しい状況が続くものと思われます。
当社グループの関連市場においても急激な需要変動が懸念されるほか、半導体や電子部品の市場低迷など、先行きの不透明感が強くなっております。
これらを踏まえ、当期の通期連結業績予想は、売上高640億円、営業利益12億円、経常利益12億円、当期純利益４億円を見込んでおります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,874	27,888
受取手形及び売掛金	19,375	18,523
商品及び製品	4,992	5,180
仕掛品	740	880
原材料及び貯蔵品	2,180	2,334
未収入金	1,513	1,594
繰延税金資産	639	691
その他	271	396
貸倒引当金	△172	△162
流動資産合計	56,415	57,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,112	7,840
機械装置及び運搬具（純額）	4,945	4,765
土地	6,166	6,173
建設仮勘定	922	1,069
その他（純額）	1,030	972
有形固定資産合計	21,177	20,822
無形固定資産		
ソフトウエア	162	144
その他	30	30
無形固定資産合計	192	175
投資その他の資産		
投資有価証券	1,223	1,109
繰延税金資産	1,286	1,261
その他	1,030	1,008
投資その他の資産合計	3,540	3,379
固定資産合計	24,911	24,378
資産合計	81,326	81,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,168	13,227
短期借入金	1	0
未払金	348	393
未払法人税等	441	410
未払費用	996	1,087
賞与引当金	849	952
役員賞与引当金	22	16
その他	530	486
流動負債合計	16,357	16,574
固定負債		
長期借入金	4	3
退職給付引当金	1,691	1,731
資産除去債務	182	182
その他	379	372
固定負債合計	2,257	2,291
負債合計	18,615	18,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,469	10,469
利益剰余金	46,270	45,989
自己株式	△944	△944
株主資本合計	67,430	67,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	39
為替換算調整勘定	△5,869	△5,382
その他の包括利益累計額合計	△5,760	△5,342
新株予約権	348	343
少数株主持分	692	689
純資産合計	62,710	62,839
負債純資産合計	81,326	81,705

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	36,025	32,086
売上原価	26,330	23,890
売上総利益	9,695	8,195
販売費及び一般管理費	7,627	7,453
営業利益	2,067	742
営業外収益		
受取利息	39	55
その他	77	66
営業外収益合計	116	121
営業外費用		
支払利息	57	16
為替差損	326	100
その他	3	4
営業外費用合計	386	121
経常利益	1,797	743
特別利益		
固定資産売却益	6	3
新株予約権戻入益	1	4
償却債権取立益	1	－
特別利益合計	9	8
特別損失		
固定資産除却損	45	7
会員権評価損	1	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	112	－
特別損失合計	158	12
税金等調整前四半期純利益	1,647	739
法人税、住民税及び事業税	450	448
法人税等調整額	126	△26
法人税等合計	577	421
少数株主損益調整前四半期純利益	1,070	317
少数株主利益又は少数株主損失（△）	14	△11
四半期純利益	1,056	328

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,070	317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	△69
為替換算調整勘定	△1,719	495
その他の包括利益合計	△1,807	426
四半期包括利益	△736	743
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△681	746
少数株主に係る四半期包括利益	△54	△3

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,647	739
減価償却費	1,525	1,291
退職給付引当金の増減額（△は減少）	60	40
受取利息及び受取配当金	△48	△66
支払利息	57	16
為替差損益（△は益）	139	121
有形固定資産売却損益（△は益）	△6	△3
有形固定資産除却損	45	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	112	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,362	880
たな卸資産の増減額（△は増加）	△719	△456
仕入債務の増減額（△は減少）	1,276	46
未払又は未収消費税等の増減額	△145	37
その他	104	14
小計	5,411	2,666
利息及び配当金の受取額	66	60
利息の支払額	△57	△16
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△491	△516
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,929	2,194
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△1,074
有形固定資産の取得による支出	△1,076	△879
有形固定資産の売却による収入	34	97
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
その他	△80	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,126	△1,890
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,621	－
長期借入金の返済による支出	△171	△0
配当金の支払額	△366	△607
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,160	△608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,131	244
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	511	△60
現金及び現金同等物の期首残高	25,223	25,969
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	489	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,223	25,909

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,986	13,090	8,619	33,696	2,328	36,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	11,986	13,090	8,619	33,696	2,328	36,025
セグメント利益又は損失（△）	649	1,387	△4	2,032	19	2,051

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	2,032
「その他」の区分の利益	19
棚卸資産の調整額	15
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	2,067

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	電子デバイス	精密成形品	住環境・生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,394	12,635	8,707	29,736	2,349	32,086
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	8,394	12,635	8,707	29,736	2,349	32,086
セグメント利益又は損失（△）	△298	1,300	△181	819	△40	779

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利　益	金　額
報告セグメント計	819
「その他」の区分の損失	△40
棚卸資産の調整額	△45
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	742

(6)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。